



平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月11日

東

上場会社名 株式会社エイチーム 上場取引所
 コード番号 3662 URL <http://www.a-tm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 高生
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 光岡 昭典 (TEL) 052-747-5573
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月11日 配当支払開始予定日 平成28年4月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第2四半期の連結業績(平成27年8月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	10,031	46.3	665	△35.0	606	△42.9	308	△54.8
27年7月期第2四半期	6,857	18.4	1,024	113.2	1,060	115.5	682	156.0

(注) 包括利益 28年7月期第2四半期 308百万円(△55.2%) 27年7月期第2四半期 688百万円(166.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	16.38	16.28
27年7月期第2四半期	35.24	34.89

(注) 当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年7月期第2四半期	8,281	4,177	49.1
27年7月期	7,656	4,008	50.9

(参考) 自己資本 28年7月期第2四半期 4,069百万円 27年7月期 3,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	10.00	—	7.50	—
28年7月期	—	5.00	—	—	—
28年7月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。平成27年7月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成27年7月期期末につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、株式分割実施前に換算すると、1株あたり15円となります。平成28年7月期の期末配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成28年7月期の連結業績予想(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	26.4	2,100	0.6	2,100	△3.0	1,400	2.8	74.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年7月期2Q	19,420,600株	27年7月期	19,405,600株
② 期末自己株式数	28年7月期2Q	580,020株	27年7月期	580,020株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年7月期2Q	18,834,759株	27年7月期2Q	19,350,951株

- (注) 1. 当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。平成27年7月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮した額を記載しております。
2. 平成28年7月期第2四半期の発行済株式数 (普通株式) について、当第2四半期連結累計期間に導入した「株式付与ESOP信託」及び「株式報酬BIP信託」に残存する自己株式を「期末自己株式数」において277,500株含めており、「期中平均株式数」において277,500株控除しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内のインターネットを取り巻く市場は、インターネットの利用者数が平成26年末時点で推計1億18万人、インターネット利用者の割合は前年と同じ82.8%となりました（総務省の平成26年「通信利用動向調査」平成27年7月公表）。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成27年9月末時点で携帯電話端末契約数が1億2,723万件、うち、スマートフォン契約数は7,237万件（端末契約数の56.9%）となりました（MM総研「SIMフリースマートフォン市場規模の推移・予測」平成28年1月公表）。

このような状況の下、エンターテインメント事業では継続してスマートフォンアプリの効率的な運用を進め、過去最高の四半期売上を達成いたしました。

一方、ライフスタイルサポート事業では各サービスの更なる充実に取り組み、それぞれのサービスの機能やSEO（注）の強化等、ユーザビリティやカスタマーサポートの品質向上に注力し、それぞれの産業領域におけるマーケットシェアの拡大及び安定的な成長に向けて取り組んでまいりました。

なお、平成27年9月にスマートデバイス向けのネイティブゲームアプリ等の開発・運営強化の一環として、東京に新たにゲーム開発拠点を開設いたしました。加えて平成27年12月には、事業拡大に伴う従業員の増加を見据えるとともにグループ企業を集約し、より一層の業務の効率化を図るため、本社移転を実施いたしました。そのため、地代家賃等が増加し、移転に伴う費用により、営業利益及び経常利益が前年同四半期比で減少しました。

さらに、当第2四半期連結累計期間において、一部ゲームタイトルやツールアプリの減損損失91百万円を計上したことにより、四半期純利益が前年同四半期比で減少しました。

（注）SEOとは、「Search Engine Optimization」の略で、検索エンジンの検索結果として上位表示されやすいようにサイトを最適化することです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,031,746千円（前年同四半期比46.3%増）、営業利益は665,433千円（前年同四半期比35.0%減）、経常利益は606,110千円（前年同四半期比42.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は308,498千円（前年同四半期比54.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業では、主にスマートフォンアプリの企画・開発・運営を行っております。

スマートフォンアプリにつきましては、平成26年12月にリリースした「ユニゾンリーグ（Unison League）」（新感覚リアルタイムRPG）、平成25年5月にリリースした「ダービーインパクト（Derby Impact）」（本格3D競走馬育成ゲーム）及び平成27年3月にリリースした「三国大戦スマッシュ！」（爽快ひっぱり大戦アクション）が好調に推移し、エンターテインメント事業の売上が前年同四半期比で大幅に増加しました。

「三国大戦スマッシュ！」は8ヵ月にわたる改修を経て、平成27年11月より大規模な広告投資を実施いたしました。その結果、エンターテインメント事業のセグメント利益が前年同四半期比で減少しましたが、「三国大戦スマッシュ！」の売上が大幅に増加し、エンターテインメント事業の売上拡大に大きく寄与いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,505,043千円（前年同四半期比62.0%増）、セグメント利益は989,770千円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

<ライフスタイルサポート事業>

ライフスタイルサポート事業では、日々のサイトの改善、プロモーション活動などにより順調に利用者を増やし、前年同四半期比で大幅な増収増益となりました。

引越し関連事業「引越し侍」及び自動車関連事業「ナビクル」は継続して業界トップシェアを維持しております。「すぐ婚navi」を中心としたブライダル関連事業は、ブランディング強化・周辺サービスの拡充・サービスの品質向上等の施策が功を奏し、過去最高の四半期売上を達成いたしました。「引越し侍」及び自転車通販サイト「cyma-サイマー」は3月、4月の繁忙期に向けて体制を強化するなど、着実に準備を進めております。金融メディア事業「ナビナビキャッシング」は5月の繁忙期に向け、効率的な運用を進めながら、サービスの品質向上に注力しております。車査定・車買取サイト「ナビクル」を中心とした自動車関連事業は、提携事業者の広告費の変動等、業界動向の影響を受け、売上が減少しましたが、引き続き効率的な運用を進めながら、周辺サービスの拡充に注力しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,526,703千円(前年同四半期比30.9%増)、セグメント利益は551,815千円(前年同四半期比53.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,281,342千円となり、前連結会計年度に比べ624,561千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少1,449,475千円があったものの、有形固定資産の増加1,280,410千円及び受取手形及び売掛金の増加494,326千円によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は4,104,276千円となり、前連結会計年度に比べ456,003千円増加いたしました。これは主に、短期借入金の減少292,000千円及び未払法人税等の減少278,558千円があったものの、未払金の増加725,901千円及び資産除去債務の増加385,898千円によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,177,066千円となり、前連結会計年度に比べ168,557千円増加いたしました。これは主に、資本剰余金の減少170,037千円があったものの、自己株式170,662千円の減少及び利益剰余金の増加167,307千円によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,648,519千円(前年同四半期比24.9%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は102,149千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益514,483千円及び未払金の増加506,041千円があったものの、法人税等の支払556,084千円及び売上債権の増加494,326千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は917,775千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出765,570千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は430,493千円となりました。これは主に、短期借入金の減少292,000千円及び配当金の支払額139,744千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き「今から100年続く会社にすること」を目指して、「エンターテインメント事業」と「ライフスタイルサポート事業」をバランスよく伸ばすことで、高い成長性と経営の安定性を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間はエンターテインメント事業におきまして、新規タイトルのリリース時期の見直し等により、見込んでいた新規タイトル分の売上が業績予想比でマイナスとなりました。一方、「三国大戦スマッシュ！」が当初の予想を大きく上回り、「ユニゾンリーグ」及び「ダービーインパクト」が引き続き好調に推移し、全体として売上・利益ともに業績予想を上回る進捗となりました。なお、下期にリリース予定の新規タイトルのリリースタイミングは不確実性が高く、下期におきまして「三国大戦スマッシュ！」のTVCMを放映する等、一部タイトルにおいてプロモーションを強化する予定であり、現時点でエンターテインメント事業全体の通期売上・セグメント利益はほぼ計画通りの着地となる見込みであります。

ライフスタイルサポート事業におきましては、引越し比較・予約サイト（「引越し侍」）、車査定・車買取サイト（「ナビクル」）、結婚式場情報サイト（「すぐ婚navi」）、及びキャッシング・カードローン総合検索サイト（「ナビナビキャッシング」）、自転車通販サイト（「cyma」）5つのメインサービスそれぞれが計画比で若干の増減があるものの、ライフスタイルサポート事業全体を通して、上期の売上・セグメント利益ともにほぼ計画通りであります。下期におきましても、同様なトレンドとなる見通しであります。従いまして、ライフスタイルサポート事業全体の通期売上・セグメント利益はほぼ計画通りの着地となる見込みであります。

また、当第2四半期連結会計期間において、開発中止となった新規タイトル及び既存タイトルに係る特別損失を計上したことにより、当期純利益が業績予想をやや下回る進捗となりましたが、事業全体を勘案した当社グループの通期売上・利益はほぼ計画通りの着地となる見込みであります。

従いまして、通期連結業績予想につきましては、現段階では平成27年9月11日発表の連結業績予想を据え置くことといたします。

上記の将来に対する記述、以下の業績予想数値は本資料発表日現在において当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

平成28年7月期 通期業績見通し（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

売上高	20,000百万円	（前連結会計年度比	26.4%増）
営業利益	2,100百万円	（前連結会計年度比	0.6%増）
経常利益	2,100百万円	（前連結会計年度比	3.0%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400百万円	（前連結会計年度比	2.8%増）

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成27年7月31日時点で持分法適用関連会社であった株式会社Ateam NHN Entertainmentは平成27年6月15日の株主総会の決議により解散し、平成27年9月4日に清算終了いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,097,994	1,648,519
受取手形及び売掛金	1,787,661	2,281,988
金銭の信託	1,055,010	985,441
商品	55,264	121,554
その他	344,723	682,286
貸倒引当金	△6,028	△6,783
流動資産合計	6,334,626	5,713,007
固定資産		
有形固定資産	125,399	1,405,809
無形固定資産	460,074	535,171
投資その他の資産		
投資有価証券	193,206	89,107
敷金及び保証金	361,747	453,320
その他	188,940	93,131
貸倒引当金	△7,213	△8,206
投資その他の資産合計	736,680	627,353
固定資産合計	1,322,154	2,568,334
資産合計	7,656,780	8,281,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,628	142,201
短期借入金	1,700,000	1,408,000
未払金	1,017,263	1,743,164
未払法人税等	454,741	176,183
販売促進引当金	14,023	10,713
株式給付引当金	—	29,265
その他	357,615	208,848
流動負債合計	3,648,272	3,718,377
固定負債		
資産除去債務	—	385,898
固定負債合計	—	385,898
負債合計	3,648,272	4,104,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	533,442	534,067
資本剰余金	507,242	337,205
利益剰余金	4,263,472	4,430,779
自己株式	△1,403,649	△1,232,986
株主資本合計	3,900,508	4,069,066
新株予約権	108,000	108,000
純資産合計	4,008,508	4,177,066
負債純資産合計	7,656,780	8,281,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
売上高	6,857,185	10,031,746
売上原価	1,055,330	1,588,702
売上総利益	5,801,854	8,443,044
販売費及び一般管理費	4,777,420	7,777,610
営業利益	1,024,433	665,433
営業外収益		
受取利息	16,313	283
投資事業組合運用益	—	15,745
為替差益	35,751	—
受取補償金	18,525	—
その他	3,212	2,299
営業外収益合計	73,803	18,328
営業外費用		
支払利息	166	3,186
金銭の信託運用損	—	69,568
持分法による投資損失	29,628	—
その他	7,474	4,896
営業外費用合計	37,269	77,651
経常利益	1,060,967	606,110
特別利益		
投資有価証券売却益	37,544	—
特別利益合計	37,544	—
特別損失		
減損損失	23,390	91,627
特別損失合計	23,390	91,627
税金等調整前四半期純利益	1,075,120	514,483
法人税等	393,086	205,984
四半期純利益	682,033	308,498
親会社株主に帰属する四半期純利益	682,033	308,498

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	682,033	308,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,622	—
その他の包括利益合計	6,622	—
四半期包括利益	688,656	308,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688,656	308,498

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,075,120	514,483
減価償却費	94,148	157,829
減損損失	23,390	91,627
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,221	1,746
販売促進引当金の増減額(△は減少)	4,715	△3,309
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	29,265
受取利息及び受取配当金	△16,313	△283
支払利息	166	3,186
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	—	69,568
投資有価証券売却損益(△は益)	△37,544	—
売上債権の増減額(△は増加)	△496,490	△494,326
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48,217	△66,290
仕入債務の増減額(△は減少)	11,080	44,911
未払金の増減額(△は減少)	351,406	506,041
その他	△163,309	△397,612
小計	792,935	456,838
利息及び配当金の受取額	19,761	283
利息の支払額	△166	△3,186
法人税等の支払額	△335,434	△556,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	477,095	△102,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△20,550	△765,570
無形固定資産の取得による支出	△140,869	△276,819
投資有価証券の取得による支出	△324,286	△20,000
投資有価証券の売却による収入	368,594	—
関係会社の清算による収入	—	116,722
その他	6,628	27,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	△610,484	△917,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△292,000
株式の発行による収入	1,685	1,251
配当金の支払額	△94,772	△139,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,087	△430,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,859	942
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△192,616	△1,449,475
現金及び現金同等物の期首残高	2,386,841	3,097,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,194,224	1,648,519

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成27年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,398,141	3,459,043	6,857,185	—	6,857,185
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,398,141	3,459,043	6,857,185	—	6,857,185
セグメント利益	1,048,000	359,559	1,407,559	△383,126	1,024,433

(注) 1. セグメント利益の調整額△383,126千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、当社が保有している固定資産のうち、その収益性が低下しているものについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23,390千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年8月1日至平成28年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,505,043	4,526,703	10,031,746	—	10,031,746
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,505,043	4,526,703	10,031,746	—	10,031,746
セグメント利益	989,770	551,815	1,541,586	△876,152	665,433

(注) 1. セグメント利益の調整額△876,152千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「エンターテインメント事業」セグメントにおいて、当社が保有している固定資産のうち、その収益性が低下しているものについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては91,627千円であります。